

令和 4 年度 事業報告書

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 3 1 日

住 所 東京都文京区春日 1 丁目 1 6 番 3 0 号

法人名 公益財団法人 **講 道 館**

令和4年度事業報告書

【公益事業】

1. 青少年を対象とする学校講道館の運営

各種学校に認定されている学校講道館で、生徒の技能、習熟度合いに応じて柔道を技術面と態度面から指導した。技術に関する内容は、基本動作、対人技能、試合と段階的に進めた。態度に関する内容は、特に礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康・安全に関する態度及び柔道の持つ伝統的な行動の仕方など重視し、指導に当たった。

令和4年度の学校講道館の生徒数について、令和2年度、令和3年度を挙げて令和4年度と比較した。

なお、本年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、令和4年4月8日から16日の間に少年部の稽古を休止、また、令和4年5月26日から28日の3日間に道場全体の稽古を休止した。感染症の状況に応じて稽古の条件及び内容を変更するなど、感染予防及び感染拡大防止対策を徹底しつつ、運営に努めた。

(生徒数の変遷)

学校講道館の生徒数の推移は以下のとおり。

(名)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
柔道普通科	65	76	72
柔道特修科	92	93	58
柔道補習科	10	4	9
柔道研修科	21	21	22
柔道国際科	16	18	41
合計	204	212	202

2. 講道館道場における柔道の指導教授

(1) 道場における指導

延べ170名を超す指導員・講師を配置し、各科においては、それぞれの対象の実態をふまえた上で、生徒の心身の発育・発達段階や、能力・適性、興味・関心等の実状を考慮し、柔道技術面だけではなく、礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方等を重視して修行者の指導に当たった。

(指導員・講師)

道場における修行者の指導を適切に行うため、道場指導部においては、錬成部指導員、成年部指導員、女子部指導員及び大阪道場指導員を選任、学校講道館では少年部講師、男子部講師、女子部講師及び国際科講師を選任し、各部毎に指導計画、実施方法を定めて技術面、精神面にわたり指導した。

(稽古時間及び指導時間)

(本館)

ア. 一般稽古

平日 男子 午後6:00-8:00
女子 午後6:00-7:30
土曜 男子 午後6:00-7:30
女子 平日に同じ

イ. 少年指導

第1班 午後4:30-6:00 1部 午後5:00-6:00
第2班 午後6:00-7:30 2部 午後6:00-7:30

ウ. 「形」指導

形研修 毎月1回土曜日 午後3:30-5:30
毎週火曜日・金曜日 午後5:00-7:00

(大阪)

午後6:00-8:00

(2) 研修会

道場指導員、学校講道館講師に対し、適宜研修会を実施した。また、道場指導員、学校講道館講師及び柔道高段者の資質の向上と自己研鑽に資する目的で、月1回の形研修を実施した。

(3) 暑中稽古及び寒稽古

暑中稽古は、講道館本館において10日間(延参加者数1317名 申込者数180名 皆出席者数68名)、大阪国際柔道センターにおいて6日間(延参加者数302名 皆出席者数21名)実施した。

寒稽古は、講道館本館においては10日間(延参加者数1810名 申込者数223名 皆出席者数133名)、大阪国際柔道センターにおいては、6日間(延参加者数412名 皆出席者数41名)実施した。

(4) 紅白試合及び月次試合

修行者の上達度合いを確認し修行の励みとするため、紅白試合及び月次試合を行った。

○月次試合 一年間12回実施し、合計1,237名の参加者であった。

○紅白試合

春季紅白試合(令和4年6月5日):男子167名 女子28名 少年20名 計215名
抜群者 男子1名(四段→五段)

秋季紅白試合(令和4年11月5日):男子177名 女子6名 少年26名 計205名
(抜群者なし)

大阪前期紅白試合(令和4年6月19日):男子76名 女子27名 計103名
抜群者 男子2名(初段→二段)

大阪後期紅白試合(令和4年12月11日):男子86名 女子18名 計104名
(抜群者なし)

3. 学校等の柔道指導者による青少年の健全な育成に関する協議会の開催

令和4年8月21日、22日、福島県「須賀川市文化センター」において、全国中学校柔道大会に先立ち、中体連柔道競技部の各都道府県の専門委員長を対象として、「講道館中学校柔道指導者講習会」を開催した。講習内容は、「指導者の役割」及び「国際柔道連盟試合審判規定2022年4月1日施行の改正ルールについての解説」であった。

4. 青少年の健全育成に関する実践報告会及び研究会の開催

(1) 大阪国際柔道センターにて「少年少女柔道錬成発表会」を令和4年6月11日(土)に開催した。参加者は47名で、保護者等の参観者が54名であった。

(2) 全日本柔道少年団各地区代表者会議は、令和5年2月18日(土)講道館5階女子部道場において開催した。

5. 青少年の健全な育成に関する国内外諸団体との連絡、資料交換及び交流

講道館段位推薦委託団体会長会議を令和5年2月17日(金)に新館7階大道場で開催し、110団体中97団体の代表が参加した。議題としては、講道館各部からの報告事項と「中学校部活動地域移行について」の説明があり、活発な意見交換が行われた。

6. 講習会の開催

(1) 夏期講習会

柔道夏期講習会第一部を令和4年7月18日から23日までの6日間、実施した。

柔道夏期講習会第二部を令和4年7月25日から29日までの5日間、実施した。

女子柔道夏期講習会を令和4年8月8日から10日までの3日間、実施した。

教科柔道指導者講習会を令和4年8月19日から21日までの3日間、実施した。

少年柔道夏期講習会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。*附属明細書①参照

(2) 講道館講習会

より一層の普及・振興を図るため、本年度も本館から講師を派遣し実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により派遣中止もあったが前年度より増加し、派遣先は10カ所、講師は11名であった。

*附属明細書②参照

(3) 講道館形講習会

制定された正しい“形”の修得を目指してもらう為に、講道館“形”講習会を本年も実施した。派遣先は、今回は6カ所で、講師は24名であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、その他5カ所で予定されていた講習会は中止となった。

*附属明細書③参照

(4) 青少年育成講習会

日本の将来を担う青少年に、講道館柔道の真の理解と、柔道を通じた心身の健全な育成を目的とした「青少年育成講習会」を3カ所で行った。

①福岡県(久留米大学附設高等学校・中学校) ②佐賀県(小城秀島道場) ③佐賀県(県少年合同錬成)

7. 柔道指導者の養成及び海外派遣並びに外国人柔道指導者等の受入れ

(1) 柔道指導者の海外派遣について

- ア. 本館による短期派遣（2カ国、6名）
 - イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣（4か国、6名）
 - ウ. 国際柔道連盟（IJF）アカデミーへの派遣（9カ国、9名）
 - エ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣（なし）
 - オ. 国際交流基金との共催事業による短期派遣（なし）
 - カ. 本館以外による派遣（全柔連、都柔連等）（2カ国、2名）
 - キ. 国際柔道連盟（IJF）関係諸行事及び大会への派遣（8カ国、13名）
 - ク. 国際視覚障がい者スポーツ連盟（IBSA）関係等諸行事及び大会への派遣（6カ国、7名）
- *附属明細書④参照

(2) 外国人柔道指導者等の主な受入れについて

- ア. グランドスラム東京後に、大会に出場した選手を中心とした国際合宿を開催した。
期間： 令和4年12月5日～9日
参加者： 選手男子280名、女子180名、計721名
- イ. 国際交流センター、カケハシプロジェクト
期間： 令和4年12月12日
参加者： アメリカ人柔道家計12名
- ウ. 講道館柔道国際セミナーを下記の通り開催し、アセアン各国の柔道指導者を受け入れた。
期間： 令和5年3月13日～3月18日
受講者： ブルネイ1名、カンボジア1名、インドネシア2名、ラオス1名、マレーシア1名、ミャンマー2名、フィリピン3名、シンガポール2名、タイ1名、ベトナム3名、計17名
- エ. IJFアカデミー（指導者養成）
期間： 令和4年11月6日～13日
受講者： 日本、ブラジル、ギリシャ、香港・中国、マレーシア、USA、計29名
- オ. その他来館者（デモンストレーション、表敬訪問等）

フランスラグビーナショナルチーム	令和4年6月30日
フランスパリスサンジェルマンサッカーチーム	令和4年7月21日
ハンガリージュニアナショナルチーム（群馬県ホストタウン）	令和4年7月26日
ウクライナ・オデッサチーム（横浜姉妹都市）	令和4年8月5、10日
ヨエル・ラズボゾフ・イスラエル観光大臣	令和4年9月9日
南スーダンスポーツ関係者（JICA技術協力PJ）	令和4年10月7日
トンガ王国マンガシ駐日特命全権大使	令和5年1月8日

(3) 国際協力機構（JICA）海外協力隊に関わる事業等

- ア. JICA海外協力隊 課題別派遣前訓練（柔道）を以下の通り実施した。
 - i. 期 間：令和4年6月27日～7月1日
受講者：2022年度1次隊研修生3名
 - ii. 期 間：令和5年1月10日～1月14日
受講者：2022年度3次隊研修生2名
- イ. 本館における課題別派遣前訓練を終了して派遣されている JICA 海外協力隊員
令和4年度に任期を終了して帰国した隊員は0名であった。
令和5年3月31日現在で赴任中の隊員は計9名であった。 ※附属明細書⑤参照

(4) 柔道器材支援

- ア. 寄贈
講道館柔道器材支援として、中古柔道衣を以下の通り寄贈した。

ジンバブエ柔道連盟	柔道衣上下100セット
外務省のスポーツ外交推進事業を活用し全柔連と協力し寄贈	
カンボジア	柔道衣上下3セット
- イ. 提供
支援用柔道衣の提供はなし

8. 調査研究

「講道館技研究部会」による第71回技研究部会を3月6日（月）に開催した。なお、令和5年度は、柔道用語の再検討を行うこととなった。

9. 図書、雑誌等の編集発行

(1) 雑誌「柔道」

講道館機関誌である雑誌「柔道」(月刊誌)を原則毎月1日に発行した。内容は、講道館柔道に関する論説、講道館行事・事業の報告、講道館主催の講習会、国内外の主要な大会、科学のページ、全柔連のページ、各地だより、海外だより、少年団のページ、昇段者、月次試合、柔道界展望台等であり、広く国内および海外に配付して柔道の普及発展に寄与した。

(2) 「講道館柔道科学研究会紀要」第19輯

歴史、技術、体力、心理、指導法に関する10件の論文を収録した「講道館柔道科学研究会紀要」第19輯を100部発行し、各都道府県図書館や関係機関へ寄贈した。

(3) 「講道館柔道科学研究会紀要」バックナンバーのWeb公開

第1輯から最新刊(第19輯)までに収録されている全ての論文を講道館HPに公開し、柔道研究の振興に努めた。

10. 文献資料の収集保存及び展示

(1) 資料館

ア. 資料の保存環境の向上

定期的な清掃を行い、資料の保存に適した環境の維持、向上に努めた。

イ. 入館者数 2,090人 (前年度比 1,449人増)

国内男性 828人、国内女性 516人、海外男性 523人、海外女性 223人

総合的学習の一環として来館した学校は以下の5校(事前申請のあった学校のみ記載)

- 筑波大学附属高等学校
- 大阪府立汎愛高等学校
- 練馬区立大泉中学校
- 文京区立指ヶ谷小学校
- 文京区立千駄木小学校

ウ. 資料収集の促進 寄贈受入 6点

エ. 大会開催日等における休日開館

実施日: 筑波大学附属高等学校見学(4月16日)、嘉納師範生誕祭(10月29日)

鏡開式(1月8日)

(2) 図書館

ア. 柔道関係の文献・映像資料の収集・保存・提供

- a. 和書 43冊
- b. 洋書 5冊
- c. 映像資料 3点

蔵書数は和書 6,150冊、洋書 1,622冊の合計 7,772冊となった。

イ. 主要な大会プログラムの収集・保存・提供

受け入れたプログラム数 56点

ウ. 逐次刊行物(雑誌・新聞)の受入

a. 寄贈

- ・「柔道」講道館, 93巻4-12号, 94巻1-3号 2022年4-12月, 2023年1-3月
- ・「月刊武道」日本武道館, 2022年4-12月, 2023年1-3月
- ・「近代柔道」ベースボール・マガジン社, 44巻4-8号

b. 購入

- ・「武道学研究」(令和4年度分)
- ・「体育学研究」(同上)

エ. 柔道に関する調査依頼への対応

問い合わせ件数 37件(研究者、学生、マスコミ関係者、一般等)

オ. 図書館利用者数 169人(前年度比 43人増)

国内男性 99人、国内女性 30人、海外男性 30人、海外女性 10人

11. 国際大会及び国内大会の開催

(1) 全国柔道高段者大会

4月28日(木)に開催した。新型コロナウイルス感染症の影響が残る中ではあったが、全国から八段 24名、七段 136名、六段 257名、五段 306名、合計 723名の参加があり、参加者には体温測定と健康記録表の提出を義務づけ、感染防止対策をしっかりと行い大会を実施した。

(2) 全日本柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟共催の本大会は、4月29日(金・祝)に日本武道館において開催した。3年ぶりに日本武道館での開催となった大会は、前年度優勝者、準優勝者等の推薦 7名と全国 10地区選出の 40名を合わせた計 47名が出場した。

(3) 皇后盃全日本女子柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟共催の本大会は、4月17日（日）に新設の横浜武道館において開催した。前年度準優勝者等の推薦4名と全国10地区選出34名を合わせた計38名が出場した。

(4) 全国少年柔道大会

本大会は、5月5日（木・祝）講道館大道場において開催した。コロナ禍の中、4つの県が欠場したが、その他は、都道府県各1チーム（東京都は2チーム）の44チームが参加した。試合は団体戦のみで、3チームによる予選リーグ（1枠だけ2チーム）を行い、勝ち上がった15チームにより決勝トーナメントで優勝を競った。

(5) 全日本柔道形競技大会

本館と全日本柔道連盟による共催の全日本柔道形競技大会は、6月11日（土）に講道館大道場で開催された。3年ぶりとなった本大会は、投の形・固の形・極の形・柔の形・講道館護身術・五の形・古式の形の7種目が行われ、全国の10地区代表59組、推薦枠3組および全国枠13組の合計75組により優劣を競った。

12. 段位認定

(1) 入門者（外国人を含む）

本年度の入門者は15,297名で昨年度に比べ1,704名の増となった。

過去10年の入門状況は次のとおりである。

年 度	入門者数(名)	前年比(名)	年 度	入門者数(名)	前年比(名)
H25	21,643 (男子) 17,543 (女子) 4,100	-1,412	H30	18,775 (男子) 14,819 (女子) 3,956	-2,496 (-11.7%)
H26	20,881 (男子) 16,927 (女子) 3,954	-762	R元	16,773 (男子) 13,175 (女子) 3,598	-2,002 (-10.7%)
H27	20,386 (男子) 16,400 (女子) 3,986	-495	R2	11,073 (男子) 8,533 (女子) 2,540	-5,700 (-34.0%)
H28	19,689 (男子) 15,879 (女子) 3,810	-697 (-3.4%)	R3	13,593 (男子) 10,350 (女子) 3,243	+2520 (+22.8%)
H29	21,273 (男子) 16,917 (女子) 4,356	+1,584 (+8.0%)	R4	15,297 (男子) 11,870 (女子) 3,427	+1,704 (+12.5%)

(2) 外国人入門者

本年度の外国人入門者は58(前年度比+23)の国・地域から男子396(同+244)名、女子99(同+63)名の合計495(同+307)名であった。

(3) 昇段者

本年度の昇段者は合計20,255名で昨年度に比べ513名の増となった。

過去10年の昇段状況は次のとおりである。

※最高審議会を含む

年 度	昇段者数(名)	前年比(名)	年 度	昇段者数(名)	前年比(名)
H25	30,326 (男子) 25,197 (女子) 5,129	-2,007 ※含最高審議会 385名	H30	25,070 (男子) 20,218 (女子) 4,852	-3,418 (-12.0%)
H26	28,406 (男子) 23,413 (女子) 4,993	-1,920	R元	23,238 (男子) 18,790 (女子) 4,448	-1,832 (-7.3%) ※374名
H27	27,988 (男子) 23,061 (女子) 4,927	-418 ※369名	R2	19,274 (男子) 15,314 (女子) 3,960	-3,964 (-17.1%)
H28	26,846 (男子) 22,042 (女子) 4,804	-1,142 (-4.1%)	R3	19,742 (男子) 15,510 (女子) 4,232	+468 (+2.4%) ※341名
H29	28,488 (男子) 23,278 (女子) 5,210	+1642 (+6.1%) ※389名	R4	20,255 (男子) 15,956 (女子) 4,299	+513 (+2.6%)

13. 合宿、講習会、大会等参加者のための宿泊・休憩施設の提供

講道館で柔道の合宿、講習会、大会等が行われる際に、参加者及び指導者・運営役員等に対して新館3階ホステルを安価で提供している。本年は新型コロナウイルス感染症の影響が少し緩和され、令和3年度の約1.5倍に当たる延べ総数2,517人の総宿泊者数となった。

【収益事業】

14. 物品販売

柔道関係の書籍・DVD、柔道グッズ等の雑貨、カレンダー等の刊行物を販売した。また、登録商標の使用許諾料収入等も得た。概要については下記の通り。

(1) 書籍

投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形・古式の形、昇段内規、嘉納治五郎（伝記）、講道館柔道試合審判規定、百三十年沿革史、嘉納治五郎著作集（一）～（三）、嘉納治五郎（私の生涯と柔道）、嘉納師範に学ぶ、少年柔道指導法

(2) DVD

形：投の形、固の形、柔の形、極の形、講道館護身術、五の形、古式の形
激闘の轍（昭和編）・（平成編）

(3) 雑貨

ネクタイ、タオル、高段者バッジ、段証書用額（大・小）、段マーク、色紙（精力善用 自他共栄）、師範遺訓額（和文、英文付き、和文<小>）、銀製バッジ（ネジ/タックピン）、並バッジ（蝶ピン/ネジ/安全ピン）

(4) 刊行物

カレンダー、絵葉書

(5) その他

講道館マーク使用料 2件
売店手数料収入 1件

15. 貸室・駐車場賃貸等事業

講道館が所有する不動産の一部を店舗、病院、事務所、駐車場等として賃貸した。また、自動販売機等のサービスを有料で提供した。概要については下記の通り。

(1) 貸室

講道館本館7階		歯科医院
本館6階		医院
本館5階		事務所
本館4階		事務所
本館2階		事務所
新館1階		小売店
新館地下1階		飲食店（令和4年8月31日退去）
大阪国際柔道センター	3階	事務所
	1階	飲食店

(2) 駐車場

講道館	8台（月極）
	20台（インターネット予約サイト）
大阪国際柔道センター	9台（月極）

(3) 自動販売機、その他（ロッカー、コインランドリー等）サービス

事業報告書－附属明細書

①夏期講習会

講習名	受講資格	講習の目的	期間	受講者数 (修了者数)
第1部	男子四段、女子三段以上	柔道高段者の資質の向上	7.18 ～ 7.23	88 (29)
第2部	参段以下の有段者・無段者	柔道修行の基礎の確立	7.25 ～ 7.29	84 (40)
女子柔道	女子柔道修行者	柔道修行の基礎の確立	8.8 ～ 8.10	45 (35)
少年柔道	少年柔道修行者	柔道修行の基礎の確立	中止	
教科柔道	柔道指導者及び教科柔道指導者	指導法の学習	8.19 ～ 8.21	33 (31)
計				250名 (135名)

②講道館講習会

	日時	主催	会場	内容	講師
1	2022/5/1(日)	愛媛県柔道連盟	愛媛県武道館	「国際柔道連盟試合審判規定」の解説と実技指導	平野弘幸
2	2022/5/14(土)	新潟県柔道連盟	新潟市鳥屋野総合体育館	「国際柔道連盟試合審判規定」の解説と実技指導	平野弘幸
3	2022/5/23(月)	鹿児島県柔道会	西原商会アリーナ	「柔道理論」	鮫島元成
4	2022/5/29(日)	青森県柔道連盟	青森県総合司会教育センター	「国際柔道連盟試合審判規定」の解説と実技指導	高橋進
5	2022/8/21(日)	日本中学校体育連盟	須賀川市文化センター	中学校柔道指導者に向けて	上村春樹
	国際柔道連盟試合審判規定の考え方について			中西英敏	
6	2022/7/17(日)	埼玉県柔道連盟	埼玉県武道館	「投の形」	南保徳双

7	2022/7/31(日)	千葉県柔道連盟	千葉県武道館	「投の形」	平野弘幸
8	2022/9/17(土) 18(日)	広島県柔道連盟	広島市安佐南区スポーツセンター	初心者への「基本指導」	秋山日向日子
9	2022/12/11(日)	札幌柔道連盟	北海道立総合体育センター	「投の形」	南保徳双
10	2023/2/18(土)	全日本柔道少年団	講道館女子部道場	「精力善用国民体育」	若松節子

③講道館形講習会

	日時	主催	会場	講師 ・ 形			
				柔の形	講道館護身術	五の形	古式の形
1	5月21日(土)	九州(北部)	長崎県立総合体育館	尾形敬史	向井幹博	福島美智男	宗 義明
				投の形	固の形	講道館護身術	五の形
2	5月29日(日)	北海道	北海道立総合体育センター武道室	南保徳双	山本三四郎	小野沢弘史	鮫島元成
				投の形	固の形	柔の形	極の形
3	8月27日(土)	九州(南部)	熊本武道館(熊本)	鮫島元成	眞喜志慶治	秋山日向日子	宇津木俊博
				投の形	固の形	講道館護身術	五の形
4	9月17日(土)	北信越	県営富山武道館(富山)	鮫島元成	山本三四郎	道場良久	千葉 翠
				投の形	柔の形	五の形	古式の形
5	10月29日(土)	関東	埼玉県立武道館	小俣幸嗣	尾形敬史	宇津木俊博	宗 義明
				投の形	固の形	極の形	柔の形
6	12月11日(日)	東海	大垣市武道館(岐阜)	下山陽邦	道場良久	宇津木俊博	鮫島元成

④海外派遣

ア. 本館による短期派遣

○上村春樹、小志田憲一、大辻広文
ベトナム (SEA ゲーム、会議・大会視察) 令和4年5月15日～5月19日

○上村春樹、谷本歩実、仮屋力
ブータン (自他共栄 Cup、大会視察、講習会、昇段試験) 令和5年3月22日～3月27日

イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣

○山本三四郎
インドネシア (セミナー、昇段試験) 令和4年8月23日～8月29日

○南保徳双
オーストラリア (セミナー、昇段試験) 令和4年9月10日～9月19日

○鮫島元成、大島修次
ドイツ (ベルリン講道館柔道形セミナー) 令和4年11月1日～11月8日

○道場良久、大辻広文
マレーシア (講道館柔道形セミナー) 令和4年12月16日～12月21日

ウ. IJF アカデミー への派遣	
○仮屋力 イギリス	令和4年8月21日～8月29日
○小志田憲一 スペイン	令和4年8月28日～9月5日
○仮屋力 ハンガリー	令和4年9月3日～9月10日
○平野弘幸 東京	令和4年11月7日～11月12日
○平野弘幸 トルコ	令和4年11月12日～11月20日
○山本三四郎 トルコ	令和4年11月19日～11月27日
○向井幹博 ハンガリー	令和4年12月4日～12月12日
○仮屋力 ドミニカ共和国	令和5年1月14日～1月24日
○平野弘幸 アゼルバイジャン	令和5年2月6日～2月13日
エ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣 なし	
オ. 国際交流基金による短期派遣 なし	
カ. 本館以外による派遣（全柔連、東京都柔道連盟等）	
○秋山日向子 ベルギー（柔道指導者派遣事業、東京都柔道連盟）	令和5年1月12日～1月17日
○向井幹博 モンゴル（柔道指導者派遣事業、東京都柔道連盟）	令和5年3月3日～3月6日
キ. IJF 諸会議及び大会への派遣	
○上村春樹、仮屋力 ハンガリー（IJF 理事会、GS ブダペスト、IJF）	令和4年7月5日～7月11日
○眞喜志慶治 ポーランド（世界ベテラン・形、審判員・役員、IJF）	令和4年9月7日～9月17日
○上村春樹、仮屋力 ポーランド（世界形選手権大会臨席、IJF）	令和4年9月11日～9月17日
○上村春樹、仮屋力 ウズベキスタン（IJF 理事会、世界選手権大会臨席、IJF）	令和4年10月3日～10月16日
○平野弘幸 日本（GS 東京、審判員、IJF）	令和4年12月3日～12月4日
○上村春樹、小志田憲一、仮屋力 フランス（GS パリ、会議・大会視察、IJF）	令和5年2月2日～2月7日
○平野弘幸 ウズベキスタン（GS タシケント、審判員、IJF）	令和5年3月1日～3月7日
○平野弘幸 トルコ（GS アンタルヤ、審判員、IJF）	令和5年3月28日～4月4日
ク. IBSA 等諸会議及び大会への派遣	
○小志田憲一、平野弘幸 カザフスタン（IBSA グランプリ、役員、審判員、IBSA）	令和4年5月24日～5月31日
○小志田憲一 ブラジル（IBSA グランプリ、役員、IBSA）	令和4年6月28日～7月5日
○小志田憲一 インドネシア（SEA パラゲーム、役員、IBSA）	令和4年7月28日～8月5日
○平野弘幸 トルコ（イスラミックゲーム、審判員）	令和4年8月13日～8月18日
○小志田憲一 アゼルバイジャン（IBSA 世界選手権大会、役員、IBSA）	令和4年11月5日～11月12日
○小志田憲一 ポルトガル（IBSA 柔道、役員、IBSA）	令和5年1月27日～2月3日

⑤国際協力機構（JICA）海外協力隊に関わる事業等

ア． JICA 海外協力隊 課題別派遣前訓練（柔道）を以下の通り実施した。

- i． 期 間：令和 4 年 6 月 27 日～7 月 1 日
受講者：2022 年度 1 次隊研修生 3 名 深井 龍河 エルサルバドル
中村 幸人 チュニジア
舩田 滯史 ジンバブエ

- ii． 期 間：令和 5 年 1 月 10 日～1 月 14 日
受講者：2022 年度 3 次隊研修生 2 名 大島 繁之 ボツワナ
藤本 大晴 パラグアイ

イ． 本館における課題別派遣前訓練を終了して派遣されている JICA 海外協力隊員
令和 3 年度に任期を終了して帰国した隊員は 0 名であった。

令和 5 年 3 月 31 日現在で赴任中の隊員は計 9 名であった。

長尾 宋馬	インド（コロナによる派遣延期のため）
西牧 由人	セルビア
岩堀 睦宗	マダガスカル
福井 勇貴	ブータン
深井 龍河	エルサルバドル
中村 幸人	チュニジア
舩田 滯史	ジンバブエ
大島 繁之	ボツワナ
藤本 大晴	パラグアイ